

2 年次後期・必修**2 単位・30 時間**

【概要】

保健医療分野では、対象者から得られる様々な情報を整理・分析することで健康上の問題を把握して、その原因を探り、明らかになった原因を除去する対策を講じて解決を図ることが必要である。本講義では、情報を科学的に整理・分析する上で必要な統計学の知識や技術について、また、各種の保健統計のうち、人口動態統計および疾病統計から得られる指標をもとに、出生や死亡の動向、健康水準の現状などについて学習する。

【到達目標】

- 1) 集団の傾向や特徴を把握するための統計学の意義や必要性を理解する。
- 2) 性質や尺度水準に応じたデータの要約と基本統計量の求め方を理解する。
- 3) 推定や検定の方法を理解し、研究に利用するための基礎的な知識を習得する。
- 4) 各種保健統計指標の意味やデータの見方、最近の統計値の傾向について理解する。

【内容・スケジュール】**(担当)**

- | | |
|--------------------------------|----|
| 1) 人口静態統計（国勢調査）、人口動態統計（その1：出生） | 黒田 |
| 2) 人口動態統計（その2：死亡） | 黒田 |
| 3) 人口動態統計（その3：死産、婚姻、離婚）、生命表 | 黒田 |
| 4) 国民生活基礎調査、患者調査 | 黒田 |
| 5) 国民健康・栄養調査 | 黒田 |
| 6) その他の保健統計 | 黒田 |
| 7) 保健医療の実践と統計学 | 宮井 |
| 8) 母集団と標本（全数調査と標本調査） | 宮井 |
| 9) データの性質と尺度水準 | 宮井 |
| 10) 記述統計と基本統計量 | 宮井 |
| 11) 母集団の推定（点推定と区間推定） | 宮井 |
| 12) 仮説検定の手順と結果の解釈 | 宮井 |
| 13) 平均値の差の検定 | 宮井 |
| 14) 割合の差の検定 | 宮井 |
| 15) 相関と回帰 | 宮井 |

【評価】

受講態度(10%)、小テストまたは小レポート(10%)、筆記試験(80%)で総合的に判断する。

【教科書】

授業時に資料を配付する

【推薦参考図書】

大木秀一 著「基本からわかる看護統計学入門」第2版 医師薬出版株式会社 2016
対馬栄輝 著「SPSSで学ぶ医療系データ解析」第2版 東京図書 2016
一般財団法人厚生労働統計協会 編「国民衛生の動向」（最新版）

【その他】 連絡先：miyain@wakayama-med.ac.jp